

平成 29 年度第 1 回天守復興部会会議録

日時：平成 29 年 4 月 17 日（月） 15：30～

会場：城彩苑多目的交流室

出席委員：伊東（龍）委員、今村委員、富田委員、永田委員、西村委員、毛利委員

オブザーバー：平井委員長

熊本城総合事務所：津曲所長、野本副所長、濱田副所長、古賀技術主幹

熊本城調査研究センター：渡辺所長、網田副所長

1 開会

2 熊本城総合事務所長 挨拶

津曲所長	<p>先程の親委員会に引き続きお時間いただき改めてお礼申し上げます。この天守復興部会は、今年度より天守閣の復旧および展示についてご審議いただくため発足した専門部会になります。</p> <p>本日は天守閣復旧整備事業の状況説明をさせていただいた後、バリアフリーや展示等についてご審議をいただきたいと考えています。どうかご検討、ご指導等よろしく願います。</p> <p>まず、天守閣の近況報告になりますが、復興のシンボルとして天守閣の早期復旧を目指しているところです。昨年 10 月には優先交渉権者として株式会社大林組に決定し、12 月には最初の設計業務の委託契約を締結しました。さらに今年 2 月には準備工事の契約を締結しています。4 月 5 日には工事関係者による安全祈願祭を開催し、本格的な躯体と外装の復旧工事に着手しているところです。特に天守閣の展示につきましては大変話題性があり、皆さんご興味をお持ちの項目になります。この部会や市議会などによりご意見を伺って進めてまいりたいと思いますので、どうかご検討のほどよろしく願います。以上で私の挨拶とさせていただきます。</p>
------	--

3 審議事項

(1) 熊本城天守閣復旧整備事業について（資料①）

- ・これまでの経緯、耐震化について事務局より説明

西村委員	耐震診断の結果はどれくらいの評価値が出たのか。
事務局	平成 14 年にも耐震診断を実施しており、大天守・小天守とも Is 値 0.3 台ということで評価を受けている。また、地震後の昨年 11 月に被災前と被災後という形で耐震診断の評価を受け、被災後も同じような数値が出ており、補修・補強による復旧が可能との評価を頂いている。
西村委員	耐震補強後の数値は現状の Is 値 0.3 から今後は 1 以上、1.5 や 1.2 といった数値を目指し、耐震改修するのですか。

事務局	熊本市（建築政策課）において耐震改修に関する計画を策定しており、不特定多数の人たちが利用する施設として、市有建築物耐震化基本方針に基づき 1.25 倍を目指す予定である。先程の親委員会で和田先生からお話いただいたように、熊本市と設計業務委託契約を締結している大林組と杭などを含め全体的にどのように復旧していくかの作業を進めている。
西村委員	普通の住宅の場合は 1.0 を目指しているが、1.25 という数字を聞き、非常に安全性の高い建物、公共的な建物の警察署や病院と同じ程度の数値を最初から計画されているようで、安心した。
事務局	耐震後の基準 Is 値は 0.6 であり、その 1.25 倍なので 0.75 になる。

・バリアフリー化・ユニバーサルデザインについて 事務局より説明

富田委員	6 人乗りのエレベーターだと車椅子では何人入るのか？
事務局	車椅子が 1 台と介添えの方が 1 名入れる程度のスペースである。6 人乗りのイメージとしては、熊本市役所裏の駐車場にあるエレベーター程度の大きさであり、既存の構造体を利用して設置することとなるので、それ以上の大きさでは設置できない。
永田委員	高齢者とは何歳ぐらいを想定しているのか？
事務局	年齢だけで決めるということではなく、移動が困難な方などで今後も検討していく予定である。
永田委員	言葉の使い方や、どのような表示をするのかということとはとても大事になる。随意契約で大林組に決めたと盛んに言われているが、どのような技術で随意契約になったのか？
事務局	（技術提案方式による）公募型プロポーザルにより業者選定している。その後が随意契約という契約手続きになる。
永田委員	天守閣内にエレベーターを設置するのであれば、周囲と連携するような動く歩道の設置を検討する場はないのか。例えば城彩苑や市民会館からなど。
事務局	これまでかつて動く歩道の話も出てきたが、特別史跡指定区域内での設置は厳しいと考えている。今後検討の場があればそのような話も出るだろうが、その検討まで及んでいない。もう少し時間が必要。
毛利委員	街や新聞などでもバリアフリーはいらないという声と是非欲しいという両方の声がある。実際、エレベーターを設置した場合、市の職員が受付などの対応をするのか。障がい者手帳を見せてもらうのか、付き添いの方も一緒に上がってもらうのか、歩いてもらうのか、これから使い方はいろいろだと思う。自動運転時には車いす使用者に配慮したものになると思うが、せっかくバリアフリーにするのであれば、あって良かったと皆さんに喜んでもらえるようなものを考えてもらいたい。
伊東部会長	（天守閣復旧整備工事が）完成後の入場者の動線は変更しないとあるが、断面図のブルーの線を行き来するということか？小天守の最上階へは行かないということか？
事務局	エレベーターについては図のような（ブルーの線）動線になる。小天守の最上階へはこれまでどおり階段では行くことになる。基本的には展望室の大天守 6 階に向けて進んでもらう動線。

伊東部会長	小天守も行こうと思えばいけるのか。
事務局	小天守のエレベーター設置はないが、階段は引き続き設置されている。これまでも来場者が大天守6階に行けると勘違いされて登られるケースがあった。案内表示なども検討していく必要がある。
今村委員	段差解消スロープは3%の角度とするのか？
事務局	バリアフリー法で決められた20分の1の勾配になる。
今村委員	この図でみると、その角度で小天守入口に入るが、階段はどうするのか？
事務局	一度撤去してスロープにする予定。
今村委員	それについて文化庁の了解はもらっているか？
事務局	随時話をしながら進めさせてもらっている。今後も文化庁と協議しながら文化財保護法に基づく現状変更許可を申請していく予定。
平井委員長	エレベーター機械室はどこに付くのか？
事務局	エレベーターと一帯になっており、シャフトの中に入っている。別途の機械室はない。
平井委員長	かごについているのであれば、上についていると上の階の床にぶつかるのでは？
事務局	ぶつからないように設計している。
平井委員長	普通のエレベーターより小さいと考えていいか？
事務局	人が十分入れる高さである。サイズは小さくなっている。
平井委員長	障がい者や高齢者のみの限定利用とした際の管理はどうするのか？
事務局	設置後の管理方法は、人を配置するのか、人を配置しない方法としてはどのようなものがあるのか、設置する段階までに詰めていきたい。今のところ、人的対応とすると乗り換えもあるので、専属で対応するというのは効率の問題もある。全体的な人の配置も考えていきたい。
平井委員長	人を配置すると最低3箇所は必要である。若者が優先的に乗ってしまうということも考えないといけない。
事務局	十分肝に銘じて考えていく。
毛利委員	トイレは何階に設置するのか、またエレベーターが止まる階数はどこか？
事務局	エレベーターの動線もあるので、1階に多目的トイレを設置する方向で検討している。展示もあるので、エレベーターは各階に停車する方向で考えている。
平井委員長	各階にすべて管理人を付けるのか？
事務局	未確定ではあるが、エレベーターをカード式にするなどの工夫もできるのではないかと考えている。3箇所さらに各階に人を配置するというのはいかがでしょうかと思っているので、それに代わるような方法を考えたい。
平井委員長	停めないで障がい者・高齢者は各階の展示を見られないということになる。管理することと両方考えなければならない。若者優先にならないように考えてもらいたい。

・内装・展示の刷新について 事務局より説明

平井委員長	西南戦争で西郷隆盛を讃えるような展示は一切して欲しくない。熊本としては、西郷軍は完全に暴徒である。私も今回記録を持ってきたが、家を壊されたり身分・財産を略奪
-------	--

	されたり、ひどい目にあって、攻めて来た人たちをいかに鎮撫したか、県として褒章するくらいのことをしている。熊本としての受け取り方というのをはっきりして欲しい。西郷軍側の西南戦争にしないで欲しい。
伊東部会長	展示ストーリーは、これまでにしても今回にしても歴史の話になるが、歴史的な内容の監修はきちんと複数の先生に見てもらい意見をもらうべきである。
事務局	具体的な展示内容を進める中で、様々な観点での検証が必要になってくる。これまでも展示をする時には、様々な監修をいただいているので、そのような認識を持っている。どのような監修方法をすればいいか、ご相談をしながら進めていきたい。
永田委員	熊本城は、今回の地震でもよく分かったことだが、熊本の人にとって最もシンボリックな存在。観光客にとっても最も訪れたいところ。熊本城の歴史だけとするか、熊本の魅力を発信する基地として熊本城を使うか、検討していいと思う。こうして欲しいということではないが、どこかでその事も検討して欲しい。
事務局	我々熊本城総合事務所・熊本城調査研究センターに限らず、本庁には観光政策課という全体を取りまとめている課があるので、熊本城の展示をどのように位置付けていくか十分連携しながら進めていきたい。
毛利委員	熊本城の惣構えがきちんと分かるような展示にしてもらいたい。
今村委員	天守閣内部は博物館相当施設としての位置付けは従来どおりか？
事務局	今まで博物館分館という位置付けであったが、分館という位置付けはせずに、オリジナル（実物）は展示しない。オリジナルというのは、温湿度管理が必要なものというような観点になるが、博物館分館の位置付けは今回取り下げる予定。
事務局	参考資料として、基本的な展示ストーリーの技術提案書をお配りしている。ストーリーに基づいた内容を展示していくという形で技術提案をいただいております、これを基本としながら引き続き進めさせていただきたい。本日はまず歴史のストーリーの部分の話をさせていただければと思う。
平井委員長	展示業者のいうとおりにするといろいろなものが入ってしまうので、整理をきちんとして欲しい。城として本当に必要なことだけに整理する。展示業者のいいなりは良くないと思う。
今村委員	熊本市として天守閣の中をどのようなテーマで展示するというのをはっきり決めてから業者に回さないと、向こうの提案どおりだといろいろなものが盛りだくさんに入ってくる。きちんと考えてやって欲しい。
事務局	今後十分頭において進めさせていただく。

4 総括

伊東部会長	バリアフリー化、ユニバーサルデザイン、具体的には動く歩道という意見まで出たが、どこからそのようなことを始めていくのか、範囲の問題の提案があった。障がい者・高齢者はどの範囲を考えるのか、それによって管理人を増やさなければならぬ等の問題がある。エレベーター停止階をすべて停めるのかなども、もう少し検討していただきたい。
-------	---

	<p>内装・展示については、熊本城の魅力を発信するような、歴史に限らない内容があっても良いという意見もあった。歴史的な内容を十分検討しなければならない。いざという時には監修者に依頼し、一方的な内容の歴史にはなってはならないという意見もあった。</p> <p>博物館分館の位置付けを今回外す方向ということが明確に示された。オリジナルは市立博物館に持っていくということだった。</p> <p>いろいろな業者が入って展示計画を進めていくが、城として展示すべきものはどのようなものか、内容を整理して、業者のいいなりにならないようにという意見もあった。城だから展示したいというものを示して、よい展示にしていきたい。</p>
事務局	<p>部会長に総括いただいた内容で次に向けて進めさせていただきたい。展示ストーリー案は今日のご審議でご了解いただけたということで、熊本市が中心となって展示業者とも話しながら進め、次回はストーリーに基づいた具体的な案を示させていただきたい。</p>

5 その他（事務連絡）

6 閉会